

2024 年事業計画

1. スポーツのまちづくり推進事業

- ・当会の目的でもある、スポーツを通じたまちづくり・人づくりを、より推進する。
- ・「エンジョイ・スポーツ」活動事業を通して地域の皆様とスポーツ文化の醸成に取り組む。
- ・“WITH CORONA”の時代に即した新たな事業を提案・実施する。
- ・浦和レッズ OB 会等の浦和レッズファミリーとも連携をより強化する。
- ・スポーツのまちづくり・人づくりを推進するにあたり、先進の施設、運営方法等の事例を視察するなど研鑽する。
- ・レッズランドの新たな事業活動も引き続き支援し、後援会としても新規事業に取り組む。
- ・一般社団法人さいたまスポーツコミッションとの事業連携の充実を図る
- ・さいたま市サッカーのまちづくり推進整備事業としてフットレリーフ設置事業、高校生サッカーチーム海外派遣事業等に協力する。

2. スチュワード（スポーツボランティア）活動の充実

- ・昨年スタートしたスチュワード委員会の活動をさらに充実させる
- ・浦和レッズ・レッズレディースの試合運営サポートをより充実させるため、引き続きスチュワード組織を有効活用し、新規業務等も検討するなどして観戦環境の改善を推進する。
- ・当後援会の目的に合致する他のスポーツイベントにも協力していく。
- ・レッズランドでの活動にも参加し、本年も引き続きレッズランド運営に協力する。
- ・スチュワード運営体制をより良いものにし、支えるスポーツ文化の醸成に取り組む。
- ・2025 年のスチュワード活動 30 周年にむけて各種事業を検討する。

3. 総務・広報活動の充実

- ・後援会会員管理システムのリニューアルを行い会員サービスの充実を図る。
- ・ホームページ、メールマガジン、SNS 等を積極的に発信する等 IT 化を更に推進し、会員満足度の向上を図る。
- ・入会申し込み等も WEB 上で行えることになり、更に利便性の向上を図る。
- ・県内各地域の行政及び関係団体との連携を強化し、当後援会の活動をより幅広く広報する。

4. 30周年記念事業における提言書の推進

- ・2023年に浦和レッズ宛に提言した「URWA REDS 3.0」を推進する。

5. 会員親睦事業の充実

- ・会員親睦事業については、より「後援会らしさ」を打ち出し、仲間づくり、絆づくりに取り組む。
- ・クラブ側と連携を取り、会員向けに入手しにくいチケット等の斡旋を行う。

6. その他

- ・後援会の目的を達成するために必要な事業を実施する。

以 上